

八頭町社会福祉協議会広報誌

特集

地域支え愛講演会開催

社協 だより

令和2年

第59号

1月

ふるさと大好き
笑顔が大好き!



八東小学校・デイサービスご利用者との交流会

本会八東支所で八東小学校1年生と八東デイサービスご利用者との交流会が行なわれました。
(詳細は2ページ)

新年のごあいさつ



会長 桑村 和義

新年あけましておめでとうございます

町民の皆様には、お健やかに初春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃より社会福祉協議会に対しまして、格別なるご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、八頭町社会福祉協議会は、「みんなで支え合い誰もが自分らしくいきいきと幸せに暮らせる福祉のまちづくり」を実現するため、関係する全ての方々と連携を図りながら、地域における福祉課題の解決に向けて事業を実施しています。

今、少子高齢化が進む中、時として失われつつある地域の連帯感の醸成とお互いを尊重し合い、支え合う地域づくりが必要であります。常に地域福祉に目を向けることを心掛け、地域に寄り添う活動として、各地区のまちづくり委員会の事業活動の支援、福祉ネットワーク事業の推進などに取り組みできているますが、町の将来を担う児童、生徒のボランティアを積極的に受け入れ、年少期から福祉の心を育てる取り組みなども行っています。

今年も、社会福祉協議会が皆様にもいつでも気軽に足を運んでいただける場所、そして、皆様に親しく接していただける職員として、一丸となって努めてまいります。

年頭にあたり、皆様にとりまして、幸多き年となりますことをご祈念申し上げ新年のごあいさつといたします。

八東小学校一年生・デイサービスご利用者との交流会

世代間交流は必要？

近年、多世代が同居する家庭が少なくなる中、それに伴い高齢者と子ども世代が交流する機会は減少傾向にあります。世代間の交流は、普段ない経験を積むことで多様な視点を持つことができる第二歩になり、考え方や価値観の範囲が広がります。それにより、柔軟な思考で物事が考えられ創造性豊かな思考を持つことにつながるため、様々な世代や文化との交流は有意義な事だと考えられます。



交流会

昨年十二月に、本会八東支所で八東小学校一年生と八東デイサービスご利用者(以下、デイご利用者)との交流会が行なわれました。小学生が考えたレクリエーションを行い、デイご利用者からは真剣な表情やにこやかな笑顔が見られました。一方小学生は、手を握ったり、肩たたきをしたり、デイご利用者に喜んでもらおうと一生懸命でした。最後は小学生がデイご利用者への寄せ書き

の発表を行い「交流会は楽しかったです」など当日の感想を述べました。

○デイご利用者の感想(二部抜粋)

「ご家族より」小学生がくれた手紙をうれしそうに眺めています。」

「耳がキーンとなるほど大きな声だけで、あれだけ元気があるのは良いことだ。小学生が主体の歌や踊りをよく頑張っていたと思う。」

高齢者と子ども達との世代間交流はお互いにとって、よい機会となったようです。



令和元年度

八頭町社会福祉大会

令和元年10月6日(日)、八東体育文化センターにおいて「誰もが自分らしくいきいきと幸せに暮らせる福祉のまちづくり」を推進することを目的に、八頭町社会福祉大会を開催しました。

八頭町社会福祉協議会会長表彰として、社会福祉への貢献を讃え19名の方々への表彰が行われ、次に、ドキュメンタリー映画監督、信友直子さんから、八頭町のみなさんに向けたビデオレターと、「ぼけますから、よろしく願います。」の映画上映を行いました。

東京で暮らす一人娘、信友監督の87歳の母がアルツハイマー型認知症の診断を受け、95歳の父が初めての家事、母の介護をしながら、お互いが思い合って生活している様子があるのまま記録されたドキュメンタリー映



画は、多くの感動と涙があり、来場された400名の方の胸に響き、認知症を知る機会となりました。

《会場アンケートより》

- 実際の家庭内の様子が分かり、心の葛藤も理解できました。認知症になった本人の心の変化、苦しさ伝わってきました。
- こういう家庭がどんどん増えていくんだなあと実感しました。認知症本人の気持ち痛いほど伝わってきました。支え合う事の難しさ、必要性を詳しく知らされました。老いても夫婦はもちろん、地域で互いに出来ることから支え合うことの大切さを学びました。
- 老々介護の難しさ、認知症になられた人の心の変化を学習させて頂いたことに感謝。

そして、八頭町地域包括支援センターにより「認知症の人にやさしいまちづくりについて」と題して、講演を行いました。認知症に対応した八頭町の体制や事業説明を具体例を交えながらの講演であり、会場アンケートで

は、認知症の人に寄り添った対応が大切。きめ細やかな支援があることを知りましたという声が多く寄せられました。

超高齢化社会となり、2025年には65歳以上の高齢者の内5人に1人が認知症になると言われており、認知症は大きな課題となっています。認知症を予防するとともに、認知症を知り、誰もが安心して暮らしていける地域づくりの推進への取り組みが必要となっています。

令和元年度 八頭町社会福祉協議会会長表彰

八頭町の社会福祉の発展のために尽力された次の方々を受賞されました。おめでとうございます。

民生児童委員功労者

山根篤美、明治登茂恵、長谷川喬子、井上雅紀、垣屋寛美、石川雄光

団体功労者

浅井宏一、角脇志津子、壹岐幹彦、澤田義昭

団体役員功労者

森岡節子

共同募金委員会

矢部敏勝、中林孝子、山下篤志、田中忠義、本城利弘、横山敏明

身体障害者福祉協会

竹内良一

ボランティア活動功労者

宮崎靖大



地域支え愛 講演会を開催しました

令和元年9月14日(土)八頭町中央公民館で「我が事・丸ごとの視点で始める共生の地域づくり」をテーマに、地域支え愛講演会を開催しました。講演・シンポジウムの2本立てとなったこの講演会には町内外から合計146人にご参加いただきました。



講演会では、広島県庄原市で社会福祉法人 優輝福祉会理事長の熊原保さんにおこしいただきました。常にお場を巻き込んで、ポジティブな発想とユーモアに富んだ笑いの絶えない講演会でしたが、そうした中に「あなたが輝けば、私も輝く」「制度に人を合わせるのではなく、人に制度を合わせるソフトケアの実現」「共感(相手の痛み・弱さへの共感)・共活(違いを活かし、認め、学び合う)・共創(共に新たな仕組みを作る)」など、日々実践されている中で大切に、地域共生社会の実現に必要なメッセージを伝えていただきました。

優輝福祉会理事長 熊原 保氏



●熊原 保氏 プロフィール

高校生の時、親友が交通事故で重い障がいを負ったことから福祉の道を目指し、福祉現場での実践を重ねる。1983年に総領町の新総合計画の策定に関わり、福祉現場からの提言(シルバーポリス構想)をまとめ、総合福祉拠点郡を中心に、障がい者・児童福祉施設や農園、レストラン等、総領町の素材をフルに活用した温かい古里づくりを提唱。優輝福祉会で実践してきた空き施設の福祉事業への積極的な転用、地元の高齢者が作る野菜を施設やレストランに活用する循環型の地域づくり、高齢・障がい・児童などの分野を超えた横断的な福祉のまちづくりの手法が2013年の新書『里山資本主義』(2014年新書大賞受賞)に取り上げられ、大きな注目を浴びる。

コーディネーター

鳥取大学地域学部准教授

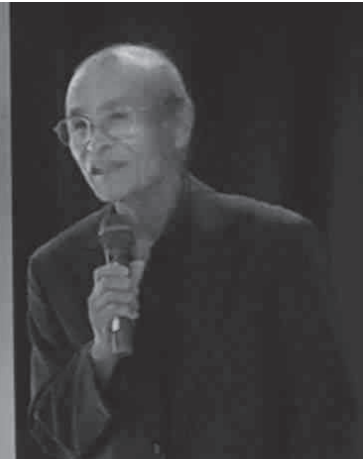
竹川 俊夫氏



引き続き行われたシンポジウムでは、コーディネーターの進行の元、熊原さんにコメントーターをお願いし、先進的な取り組みをされている3つの団体によるシンポジウムを行いました。

《東郡家地区まちづくり委員会》

委員長 山根 張太郎氏



ふれあいの里たからを拠点として、

地域の仲間づくりや健康づくりに取り組んでいる。平成30年に鳥取大学2年生の地域調査実習での学生たちとの学び合いから、認知症や障がいの理解が進むことで、当事者がもっと参加しやすくなるのではないかと、の気づきを得て、地区内のたんぽぽ作業所との交流を進めていった。お互いを知り合う交流会を重ねて、現在ではたんぽぽ作業所の作業生がまちづくり委員会に出張販売を行ったり、作業生の工賃アップにつながる空き缶回収をまちづくり委員会で応援するようになってきている。今後は行事だけの交流から日常的な交流へ関係を進めていきたい。また、まちづくり委員会のカフェが当事者の働く場にもなっていけばいいと思う。

《社会福祉法人 和》

理事長 八渡 和仁氏



倉吉市内で空き施設を改修し障がいのある方の福祉作業所やグループホーム等を運営している。その中で国の有形文化財登録されている土蔵造りの旧国立第二銀行倉吉支店を「白壁倶楽部」として改修した。喫茶、レストランとして営業しており、観光客や地元の人など多くの人が集う場となっているが、そこを障がいのある方の働く場として活用している。

《NPO法人

山村エンタープライズ》

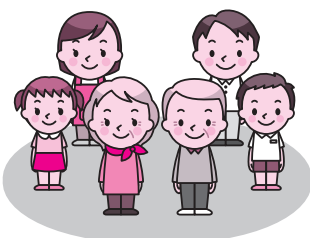
代表 藤井 博也氏



岡山県美作市に地域おこし協力隊として着任。任期後に単身者用のシェアハウスを立ち上げたときの仲間引きこもり体験者があり、そこでの生活の中で力を取り戻していった。こうした取り組みがメディアに取り上げら

れたことがきっかけで、引きこもり状態の若者が集まるようになり支援を行うようになった。NPO法人山村エンタープライズでは、人おこし事業と称し、過疎化が進む山間部の自然を生かした自給自足の共同生活の中で、地域住民や地元企業と関わり合いながら、仲間と共に過ごし、生活の知恵を学び、役立ち体験を重ね、生きる力を取り戻す就労プログラムの開発実施を行っている。

この講演会・シンポジウムで共通することは、共に学び合う場をつくることの重要性でした。住み慣れた場所で、誰もが役割を持ち、互いに認め合い、支えあうことができる地域づくりに向けて、八頭町でも日々多くの取り組みが進められています。学び合う意識の醸成と多くの方が参加できる場を作り、積み重ねていくことで、取組がますます発展していくことが期待されます。



ありがとうございました 謹んでお悔やみ申し上げます。

香典返し・玉串料・お花代 ご寄付名簿録

皆さまからのご寄付は福祉活動の財源として役立たせていただきます。(寄付に対する税金控除を受けることができます。)

11月					10月					9月					住所	寄付者氏名	続柄	故人名									
皆原	小別府	安井宿	橋本	上野	野町	宮谷	土師昇	郡家	才代	用呂	上野	見槻	船岡殿	下門尾	郡家	宮谷	下門尾	破岩	日田	上津黒	池田	福本	郡家	住 所	寄 付 者 氏 名	続 柄	故 人 名
加藤	田中	尾崎	大谷	前田	川戸	数田	森木	石谷	山本	大平	西尾	田中	山本	田中	福田	松川	清水	歳岡	小林	森本	池本	今嶋	山崎				
直道	剛	幸子	幸彦	千穂	和文	直人	優	健一郎	愛子	一郎	良秋	純一	正紀	惠美子	俊史	明義	敏晴	誠司	光男	浩	正勝	憲二	将史				
母	母	夫	母	夫	妻	妻	祖母	母	父	母	母	父	母	父	父	母	母	母	母	子	母	母	父				
絹枝	貞子	敏	春子	智	茂子	ゆかり	はる	多恵子	政孝	操子	喜子	敏明	正子	古田一則	満義	淑	すみ子	美智恵	タマエ	恵里菜	佐津子	巳和子	義人				

(敬称略)

八頭町社協からのお礼です

物品・一般寄付 (9月~11月)

(敬称略)

- 「小さな親切」運動 山陰本部……車椅子
- 下門尾 清水 敏晴
- ……ポータブルトイレ他
- 鳥取市 林 悦之……オムツ
- 若桜線SL遺産保存会……5,000円
- 食生活改善推進連絡協議会 八東支部
- ……3,000円
- 八頭町民生児童委員協議会 八東支部
- ……11,390円

ボランティア活動

お世話になります (9月~11月) ありがとうございます

環境美化活動

- 郡家老人福祉センター
 - 八頭町シルバー人材センター
 - 八頭町身体障害者福祉協会郡家支部
 - メニュータ
 - 船岡・済美老人クラブ
 - 八頭町身体障害者福祉協会船岡支部
 - 八東地域福祉センター
 - 花つくりボランティア
- デイサービスレクリエーション
- 本所
 - 石川卓男さん(歌)
 - 郡家図書館(読み聞かせ)
 - 船岡支所
 - 二岡真知子(音楽演奏)
 - 八東支所
 - 二岡真知子(音楽演奏)

※順不同、敬称略

あなたの暮らしをお手伝いします

日常生活自立支援事業

- * 通帳を預かってもらいたい
- * ホームヘルプ、配食、施設等を利用したい
- * 公共料金や医療費の支払いを手伝ってほしい
- * 預金の出し入れを手伝ってほしい

まずは、お気軽にご相談ください。



相談窓口

八頭町福祉相談支援センターほっと ☎71-0100 (八頭町社会福祉協議会事務所内)

車いすをいただきました

この度「小さな親切」運動山陰本部様より、車いす1台を寄贈していただきました。

八頭町社会福祉協議会船岡支所で大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



ふれあいサロン募集

ふれあいサロンとは、地域の身近な公民館等を会場に、誰でも参加できる場づくりをすすめるための取り組みです。地域の方々がふれあいを深め、そこで楽しく過ごすことで、生きがいづくりや健康づくりのほか、様子が気になる人の見守りや閉じこもり予防、つながりづくりなどを目的としています。

レクリエーションの協力やイベント等の補助、ゲーム用品などの貸出、随時相談や活動の支援もさせていただきますのでお気軽にご相談ください。

助成金 (申請時の参加予定者：金額)

登録会員数が
10名以上：20,000円(年間)
5～9名：15,000円(年間)

申請締切

3月9日(月)(年度途中の申請可)

サロン説明会

1月下旬～2月中旬に開催の予定です。

詳細は八頭町社会福祉協議会にお問い合わせください。

祭壇の貸出について

令和2年4月から、祭壇の運搬・組立をすべて八頭町シルバー人材センターへ委託いたします。

- 祭壇貸出の申請は、社会福祉協議会本所・各支所で受付いたします。
- 祭壇の貸出は無料ですが、祭壇の運搬・組立代は別途必要となり、八頭町シルバー人材センターへ直接お支払いしていただくことになります。

※祭壇の運搬・組立代は24,000円です。



鍛冶屋温泉 カレンダー

1月						
日	月	火	水	木	金	土
			1 定休日	2 定休日	3 定休日	4
5	6	7 定休日	8	9	10	11
12	13	14 定休日	15	16	17	18
19	20	21 定休日	22	23	24	25
26	27	28 定休日	29	30	31	

ふろの日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4 定休日	5	6	7	8
9	10	11 定休日	12 定休日	13	14	15
16	17	18 定休日	19	20	21	22
23	24	25 定休日	26	27	28	29

ふろの日

3月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3 定休日	4	5	6	7
8	9	10 定休日	11	12	13	14
15	16	17 定休日	18	19	20	21
22	23	24 定休日	25	26	27	28
29	30	31 定休日				

ふろの日

●営業時間

(9:00～17:00)

※は営業延長

9:00～19:00

(3月21日より)
土日祝日のみ)

入浴料

町内在住者 300円

町外在住者 400円

小学生・障がい者 200円

●定休日 火曜日

火曜日が祝日の場合は翌日

●26日はふろの日

入浴料が100円引きです。

■令和元年12月29日(日)～令和2年1月3日(金) 年末年始休日

■10人以上は予約により送迎をします(八頭町内)

■温泉利用での休憩所(和室)があります(予約必要)



ひとり親家庭等の中学生・保護者の皆様へ

卒業祝い品贈呈事業のお知らせ

対象

令和2年3月に中学校を卒業される、ひとり親家庭等の生徒

※ひとり親家庭等：ご家庭の事情により、父母いずれかが子どもを養育している世帯。または、祖父母が子どもを養育している世帯。

申込期間

令和2年1月9日(木)～2月7日(金)

申込方法

印鑑(シャチハタ不可)をお持ちの上、お近くの八頭町社会福祉協議会本所・各支所の窓口へお越しください。

贈呈期間

令和2年2月25日(火)～3月13日(金)

※土日祝日を除く

お問合せ先

八頭町社会福祉協議会 地域福祉課(本所内)

電話 (0858)72-0021

職員異動

◆異動(令和元年11月1日付)

船岡支所 通所介護主事

山本美穂(八東支所 通所介護)

みんなの声

「安部まちづくり委員会
で聞きました。」

テーマ 誰かに伝えたい「ありがとう」

- 今90歳になった自分が動けることに感謝です。元気な体に産んでくれた親に感謝です。(90代女性)
- 女房にありがとう。(60代男性)
- 毎日健康で暮らせる事がありがたい。(50代女性)
- お父さん…今日までありがとう。今楽しく友達と生きています。(80代)
- 2人の老親に。元気でいてくれてありがとう。(60代女性)
- ありがとう。子ども達、近所の方、村中の人々、すべてにありがとう。(80代女性)
- いつも畑仕事ありがとう。私はい
- つも家にいます。年齢に合う仕事をしてください。足腰大事にね！(70代女性)
- いつもごちそう作ってもらってありがとう。ありがとうございます。(80代女性)
- 今月のなかよし会に元気で行かせていただきますようにしたいと思えます。スタッフの方々、色々お世話になります。よろしくお願いいたします。(80代)
- まちづくりの皆様、楽しい時間をありがとうございます。木曜日を楽しみにしています。(70代女性)

次回、皆さんの地域のまちづくり委員会でお聞きいたします。

テーマ 「とっとり・やず・自分のまちのよいところ」

社協だより4月号にて掲載予定です。



あったかほのぼの フォト大募集！

本会では「あったかほのぼの」をテーマとして、「心があたたまる」「ほのぼのとした気分になる」写真を募集いたします。応募いただいた写真の中から数点を八頭町社会福祉協議会広報誌「社協だより」に掲載いたします。

応募期間
令和2年1月6日
～令和2年2月28日

応募資格
八頭町民、もしくは八頭町に勤務地を置く方

応募形態
プリントまたはデータ。
※組写真及び合成写真は不可

応募方法
①データ(JPEG)
本会ホームページ
(<https://yazu-syakyo.or.jp>)の専用フォームより必要事項を入力の上、送信してください。
②プリント(窓口)
1回の送信につき1点ずつ応募
③募集期間1回につき1人3点まで
④応募用紙に必要事項を明記の上、八頭町社会福祉協議会本所・各支所窓口にて応募ください。



※写真はイメージです

その他・注意事項

「あったかほのぼのフォト」募集要領に沿ってご応募ください。
※募集要領は八頭町社会福祉協議会ホームページよりダウンロードできます。
(<https://yazu-syakyo.or.jp>)



社会福祉
法人

八頭町社会福祉協議会

八頭町社会福祉協議会は「みんなで支え合い、安心して暮らせる福祉のまちづくり」を経営理念として運営してまいります。

本所 〒680-0463 鳥取県八頭郡八頭町宮谷254番地1 TEL(0858)72-6210・FAX(0858)72-2793
船岡支所 〒680-0411 鳥取県八頭郡八頭町船岡殿159番地 TEL(0858)73-0672・FAX(0858)72-6122
八東支所 〒680-0532 鳥取県八頭郡八頭町東593番地1 TEL(0858)84-2210・FAX(0858)84-2227



八頭町社協

<http://www.yazu-syakyo.or.jp/>

検索

社会福祉協議会の情報が盛りたくさん。是非のぞきにきて下さい!

この広報誌は赤い羽根共同募金の配分金事業で発行しました。